

# ケーススタディ:ファッションセンターしまむら

## 資料編 《業界の市場規模としまむらの財務状況》

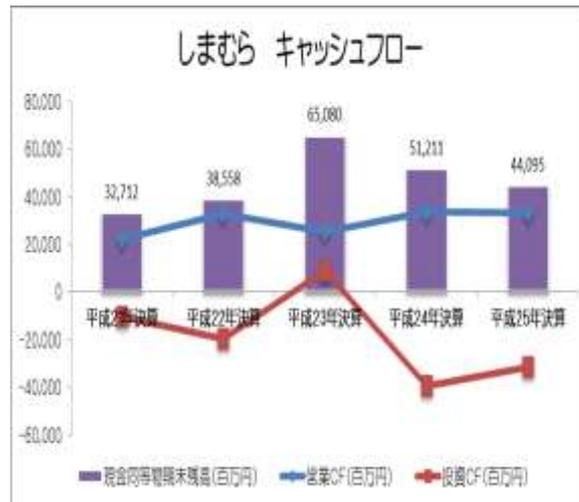
アパレル業界基本情報（平成24-25年版）を見ると、アパレル業界の市場規模は：4兆4,487億円（主要対象企業54社の売上高計）となっています。業界全体では年々成長をとげています。最大の勢力はユニクロやジーユーを抱える「ファーストリテイリング」が1位であり、続いて2位は「しまむら」になっており、ファストファッションを販売する企業が好調であると言えます。消費者の百貨店離れで、アパレルメーカーは低調気味でしたが、アベノミクス効果もあり回復基調があると言えます。

アパレル業界 基本情報（平成24-25年版）

順位	企業名	売上高	売上高
		(億円)	シェア
1	ファーストリテイリング	9,286	20.90%
2	しまむら	4,910	11.00%
3	ワールド	3,364	7.60%
4	オンワードホールディングス	2,583	5.80%
5	青山商事	2,124	4.80%

アパレル業界2位の売上高となっているしまむらですが、キャッシュフローの分析にもあるように、しまむらはキャッシュ（現金）を内部留保するのではなく、投資活動を積極的に行い、出店戦略を展開しています。今では国内のアパレルメーカーと比較しても最大の店舗数を保有しています。

科目名	平成21年 決算	平成22年 決算	平成23年 決算	平成24年 決算	平成25年 決算
営業CF(百万円)	22,150	32,988	25,086	33,482	33,457
投資CF(百万円)	-10,581	-19,551	9,138	-39,508	-31,413
財務CF(百万円)	-2,271	-7,592	-7,699	-7,826	-9,198
現金同等物期末残高 (百万円)	32,712	38,558	65,080	51,211	44,095



さらに、しまむらの財務分析を見ると、ユニクロのような派手さはありませんが、堅実に業績を伸ばしていることがわかります。しかし、平成25年決算では売上高自体は伸びているものの、営業利益率の低下や、総資産回転率の低下があることがわかります。しまむらでは、新たな戦略を考え、利益の最大化を目指さなければならない背景が財務分析からもうかがえます。



資料番号：戦略 B-2-2

出所：『しまむらグループ ホームページ』 <http://www.shimamura.gr.jp>

『業界動向 SEARCH.COM』 <http://gyokai-search.com>

『株式会社しまむら 有価証券報告書』